

インナー大会プレゼン部門 2018 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) キョウリンダイガク	フリガナ) ソウゴウセイサクガクブ	フリガナ) クノ
杏林大学	総合政策学部	久野ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) クノゼミナールチームビー	フリガナ) タカハシ リョウ	6人	無	
久野ゼミナールチーム B	高橋 凌			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

調査時に使用したアンケート結果、実地調査の写真

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

研究テーマ (発表タイトル)

ゆかた振興プロジェクト ～産学官で紡ぐ織物のまちへの挑戦～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

本プロジェクトは、織物のまち八王子において、近年「浴衣離れ」が進む若者と外国人をターゲットにゆかた文化の魅力を再認識してもらうことを目的とした学生主体の産学官連携プロジェクトであり、本年で三年目を迎えている。

具体的には、八王子の市役所、商工会議所、織物工業組合、老舗和服卸売商社、市内複数の大学・専門学校の学生と連携し、若者や外国人を対象に着物の魅力を伝えるための各種取組み (着付け指導、浴衣着用でのダンス、ちびっこ合唱団、マジック、着こなしコンテスト等) を行った。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

二点ある。第一に、毎年新たに発見するイベントの反省点・改善点に対して、PDCAに沿った解決策を明らかにすること。第二に、主なターゲットである若者や外国人に対してプログラムやおもてなしを我々、運営側が提案することで満足度の高いイベントへ

と進化させ続けること。第三に、イベントの認知度向上に向け更なる周知方法を探求することである。

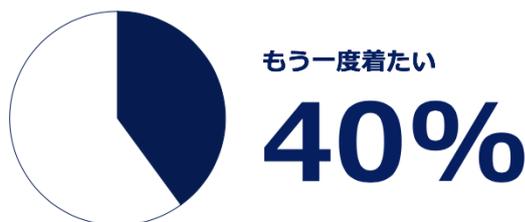
3. 研究テーマの課題

本プロジェクトの課題は、日本文化の一つである和装、特に着物や浴衣の魅力が若者に対して伝わっていないという点である。我々が調査した結果、全国の男女 10,918 人に対して行われたアンケート調査（マイボイスコム株式会社 2018 年 01 月 01 日～01 月 05 日）では、全体の約 4 割の着物着用経験のある回答者が今後、もう一度着用したくないということが判明。その理由として一人で着付けをすることができない、着る機会が少ないということが大多数を占めていることも確認できた。（経済産業省繊維化より）また、全国の男女 7,607 人を対象に行ったアンケート調査（『DIMSDRIVE』インターワイヤード株式会社）によると特に、着付け方がわからないと回答した割合が全体の 7 割以上であることも判明した。加えて、我々が独自で老舗呉服店に対して取材を行ったところ、若者の和装に対する関心の低さ、着物や浴衣の着用機会が減少している点も判明した。

そこで、我々は主に若者をターゲットとして着物や浴衣の魅力を伝える必要性があると考え、イベントの創出や様々な取り組みを通じてイメージの改善を行うことが重要であると考えた。

着用経験者による今後の着用意向

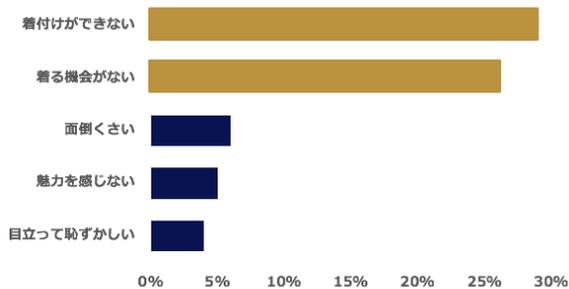
N=10,918



出所：(株)マイボイスコム

着用に至らない理由

N=1,568



出所：経済産業省繊維課

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

本プロジェクトは今年度で第三回目を迎えているが、今年度は、一昨年度の第一回開催、昨年度の第二回開催を通じて主に三つの課題を発見し、それらを解決する為にいくつかの取り組みを行ってきた。第一に、従来本プロジェクトに出場する連携大学が毎年限定的だったが、イベントの認知度向上と各大学が持つ特色や多様性を広げるために、連携団体の拡大を図った。第二に、従来外国人へのおもてなし対応が不十分であったことが判明したが、ゆかたの着付け・畳み方講座を行うだけでなく、美容学生によるヘアアレンジ、日本の食文化を味わうかき氷体験、プロジェクト終了後はゆかたを一式プレゼントし、これらを通じておもてなしを存分に体験して頂くことに成功した。第三に、従来途中退席する観客が多く目立ったが、観客も一緒に楽しめる体験型イベントの拡充や産学官で連携をし地域住民（主に西放射線ユーロード商店街）の方に対して積極的に広報活動に努めたことでイベントの周知を徹底した。これらの課題解決により、今年度はプロジェクトの満足度を大幅に向上させることに成功した。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

三年に渡り継続実施中の本プロジェクトにおいて、ターゲットの一部である外国人へ浴衣に対するイメージ調査をするべく台湾において街頭インタビュー調査を実施。また、本プロジェクトに携わった全ての関係者（協力団体、協賛企業、イベント来場者、観客）総勢 300 人以上を対象に独自のアンケート調査を実施。加えて、本プロジェクトのポスターを作成し西放射線ユーロード商店街の 32 店舗と多摩地域の 14 大学に掲載、また八王子商工会議所が発行している情報誌「らぶはち」に掲載することにより本プロジェクト周知を計った。

6. 結果や今後の取り組み

イベント当日のプログラムの一つである、着こなしコンテストの出場者を対象に行ったアンケート調査では、本イベントを通じて 9 割以上にゆかたの新しい魅力を感じて頂くことに成功した。また、若者だけでなく、本プロジェクトに携わった全ての関係者（協力団体、協賛企業、イベント来場者、観客）を対象にした調査においても 8 割近くの方に魅力を感じて頂くことに成功し我々の目的は達成した。

また、プロジェクトの進化に伴い今年度も新たな課題が発見したが PDCA に沿った改善を行い改善させていく予定である。今後の展望としては、更なるプロジェクト規模の拡大と浴衣の新たな魅力の発信方法の創出を目的として、八王子市を代表する八王子まつりへの参入やクラウドファンディングの導入も視野に入れている。

7. 参考文献

「着物関連市場における新たなセグメントとその犠牲の分析」

<http://www.consortium.or.jp/wp-content/uploads/seisaku/5137/2013kimono.pdf>

「和装振興研究会～きもので日本の魅力を向上する～」

http://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/seizou/wasou_shinkou/pdf/001_03_00.pdf

和装業界-経済産業省

http://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/seizou/wasou_shinkou/pdf/005_s02_00.pdf

経済産業省繊維課

http://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/seizou/wasou_shinkou/pdf/004_03_00.pdf

経済産業省製造産業局生活製品課

http://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/fiber/pdf/180620seni_kadai_torikumi_r.pdf

八王子市

http://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisei/001/001/005/007/p006477_d/fil/sangyosinkoumasterplan2.pdf

「経済産業の課題と経済産業省の取組」

http://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/mono/fiber/pdf/180620seni_kadai_torikumi_r.pdf

経済産業省繊維課 着用率

http://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/seizou/wasou_shinkou/pdf/004_03_00.pdf

繊維産業

<http://www.meti.go.jp/statistics/toppage/report/bunseki/pdf/h17/h4a0603j2.pdf>

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1 チーム・1 点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様（株式会社日経 BP マーケティング）に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、

A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HPなどに発表されていない)ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・株式会社日経 BP マーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、ご提出ください